



市民の憩いの場所に

▲公立小浜病院内の中川淳庵顕彰薬草園で開園一周年の記念行事が開催。約70種類の薬草を紹介(大手町・5月31日)



田植えの無事に感謝

▲ご祈禱を受け各集落の家々を回るために神社を出発する田の神まつりの子どもみこし(若狭姫神社・5月25日)



青少年地域活動奨励賞!

▲小浜ジュニアリーダーズクラブ・大矢千寛さんの活動を県教育委員会が表彰(小浜水産高校・6月5日)



つぎイチ『バラエティ』始まる

▲市文化協会のイベントのシリーズ1回目。若狭ギターアンサンブルが奏でるギターの調べに聴き入る市民ら(市庁舎・6月11日)



水害から住民を守るため

▲水防訓練で倒壊した家屋に残された人をチェーンソーを使って救出する消防団員(南川大橋付近・5月31日)



福祉の輪よ広がれ

▲福井放送24時間テレビチャリティー委員会が視覚障がい者用福祉機器25台などを市に贈呈(市庁舎・5月29日)

5/29 雇用拡大に期待



日本電産テクノモータ(株)福井技術開発センター(遠敷)の2期棟工事起工式が行われました。同施設では空調機器用モーターの研究開発が行われています。2期棟は鉄骨3階建て、延べ床面積約9,700平方メートルで、来年3月に竣工予定。従業員数も現在の350人から、10年後には1,000人規模となることが計画されています。

6/1 新たな目線で小浜の魅力を



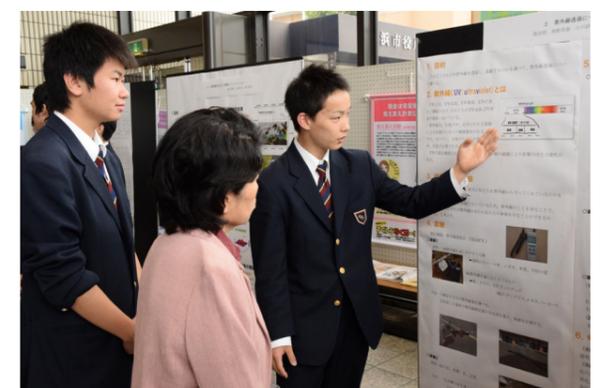
カフェあさい(酒井)で、Iターン座談会が行われました。この企画は、市民団体「KISUMO小浜」が、就職や結婚をきっかけに小浜市に定住したIターン者の目線で地域資源を掘り起こそうと実施。座談会には、市内在住のIターン者19人が参加して、各自が感じる小浜の魅力を紹介するなど活発に意見交換をしていました。

5/30 全国大会で最優秀賞受賞を報告



5月28日(金)に仙台市で開催された第37回全国消防職員意見発表会で若狭消防組合の山下倫弘さん(27歳・田烏)が最優秀賞に輝きました。県内からの最優秀賞は19年ぶり2人目、同組合からは初めて。30日(金)には同組合管理者の松崎市長に受賞を報告。感想や大会の発表の様子などについて語りました。

5/22 日頃の研究成果を発表



市庁舎(大手町)で、若狭高校による市民対象の研究発表会が初開催されました。同校3年理数探究科生徒37人が、12のグループに分かれて、研究内容をまとめたパネルの前で発表。訪れた市民らは熱心に耳を傾けていました。同校は、6月10日(金)に東京大学と高大連携協定を締結。新たな教育活動の展開が期待されます。